

音楽科 授業改善推進プラン

1 観点ごとの児童の実態・学習効果測定結果の分析

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
知識及び技能	○器楽では、鍵盤ハーモニカを正しい運指で演奏したり、拍を数えて打楽器を打ったりすることができます。	○器楽では、音色に気を付けてリズム楽器を演奏することができます。	○リコーダーの運指の理解は、個人差があります。音色を意識して演奏できる児童もいます。	○リコーダーの運指の理解は、個人差があります。○音色を意識して豊かに演奏できる児童もいます。	○器楽では、リコーダーの基本的な奏法は、身につけています。○歌唱では、低音の発声をきれいにすることが課題です。	○器楽では、リコーダーの基本的な奏法は、身につけています。○歌唱では、発声や響きを意識することが困難な児童が多いです。
思考力, 判断力, 表現力	○元気な声で歌えますが、音程がとれなかったり、強弱に気を付けて歌ったりすることが苦手の児童もいます。○鑑賞では、リズムに合わせて体を動かし、曲を聴くことのできる児童が多いです。	○歌唱では、無理のない発声で歌うことができ、音程の高低や拍子感覚をつかめることができます。○鑑賞では、曲を聴き、リズムに合わせて体を動かし、自分の思いを活発に発言する児童が多いです。	○リコーダーの音色を意識したり、タンギングの仕方を工夫したりできるよう継続的に学習する必要があります。○鑑賞では、楽曲の構成に気を付けたり、曲想を味わったりしながら楽しく聴いています。	○リコーダーの音色を意識したり、レガートの表現を工夫したりすることができます。○楽曲の構成に気を付けたり、楽器の音色を意識したりしながら楽しめますが、考えを深めることは難しいです。	○歌唱では、高音での響きのある発声を意識して歌うことができます。○合奏では、楽曲の構成や変化に気を付けて演奏しています。積極的に自分の表現を発信する児童が多いです。	○既習の学びを生かして主体的に学習を進められることが課題です。○合奏では、楽曲の構成や変化に気を付けて演奏できますが、主体的に活動を進められない児童が多いです。
学びに向かう力, 人間性	○友だちと協働して歌ったり手拍子を打ったりする活動に進んで取り組んでいます	○友だちと協働して歌ったり手拍子を打ったりする活動に進んで取り組んでいます。	○全体的に皆で、表現をする雰囲気を楽しめ、前向きに取り組めます。○階名で楽譜を読むことが定着しています。	○ていねいに取り組み、楽しむことができます。○豊かに表現でき、発展的な内容につなげて活動できます。	○歌唱では主体的に活動を深められない児童もみられます。○合奏をする雰囲気を楽しめ、前向きに取り組めます。	○協働して取り組む気持ち維持できない場面が多いです。

2 課題と改善策、検証方法

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
課題	○元気に大きな声で歌えますが、音程がとれなかったり、拍の流れに気を付けて歌ったりすることが苦手の児童もいます。	○音楽的根拠をもって自分の考えを深めていくことが課題です。	○階名を読むことが今後も定着できるよう継続的に学習する必要があります。	○音楽的根拠をもって自分の考えを深めていくことが課題です。	○歌唱では、正しい音程で歌ったり低音の発声をきれいにしたりすることが課題です。	○より良いものを表現しようとする積極性には、課題があります。○協働して取り組む気持ち維持できない場面が多いです。
改善策	○いろいろな楽曲を歌ったり、階名唱したりしながら正しい音程をつかめるようにします。○常時活動に「リズム遊び」を取り入れていきます。	○鑑賞のワークシートを活用して音楽的要素を理解できるよう指導します。	○年間を通して、階名唱やリズム唱などを多取り入れ、音符カードや音階の表と結び付けて指導します。	○鑑賞のワークシートを活用して音楽的要素を理解できるよう指導します。	○合唱活動の導入部分に発声練習を取り入れ楽曲と連動しながら、ポイントが捉えやすくなるように指導します。	○段階ごとに指導の重点を明確にして学習内容を分かりやすく提示します。○鑑賞のワークシートを活用します。
検証方法	○歌を歌うときに、音程が取れているか確認します。	○行動観察や授業の振り返りをして、検証します。	○行動観察や授業の振り返りをして、検証します。	○行動観察や授業の振り返りをして、検証します。	○行動観察や授業の振り返りをして、検証します。	○行動観察や授業の振り返りをして、検証します。○鑑賞のワークシートで確認をし、検証します。

